

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 1 日

事務事業名		消防ポンプ操法大会参加事業					事業区分		担当	
							新規/継続	継続	事務事業No.	030101000679
							単独/補助	単独		020801
政策体系	総合計画の施策名	0301 消防・防災対策の充実							所属課	防災課
	政策名	03 安全安心な暮らしのまちづくり							課長名	
	施策名	01 消防・防災対策の充実							グループ	防災
	手段名	01 ①消防防災意識の向上							担当者名	
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	09	01	02	01	00	非常備消防事業			
法令根拠							単年度繰返し (平成18年度～)			
						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像) 消防団員の消防訓練の一環として、全国規模で行われている事業への参画である。桜川市消防団からは、各地区(岩瀬地区・大和地区・真壁地区)持ち回りで、茨城県消防ポンプ操法大会県西地区大会へ出場している。令和2年度から令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。令和5年度から茨城県消防ポンプ操法大会県西地区大会が再開となった。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・訓練打合せ ・消防署への訓練指導依頼 ・訓練会場使用申請 ・訓練資機材準備 ・補助金支出事務 ・訓練立会い ・消耗品費支出 ・結団式開催事務 ・統一訓練及び指揮者会議出席 ・激励会開催事務 ・会場開放訓練参加 ・大会当日出席者取りまとめ、激励会開催

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・訓練打合せ・消防署への訓練指導依頼・訓練会場使用申請・訓練資機材準備・補助金支出事務・訓練立会い・消耗品費支出・結団式開催事務・激励会開催事務・大会当日出席者取りまとめ、激励会開催	訓練回数	回	31.00	50.00	40.00	40.00	40.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
消防団員	操法大会参加消防団員数	人	56.00	41.00	45.00	45.00	45.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
消防団員相互の団結力の強化と消防ポンプ操法技術の向上	住みやすい住環境であると答えた人の割合	%	36.10	35.90	35.90	35.90	35.90
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	千円	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
		国庫支出金	千円	0	0	0			
		県支出金	千円	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0			
		使用料・手数料	千円	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0			
		一般財源	千円	4,745	4,501	6,466			
		事業費計 (A)	千円	4,745	4,501	6,466			
		正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人			

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)			07年度事業費 予算 (千円)		
	01 報酬	2,955		01 報酬	4,500	
	10 需用費	186		10 需用費	232	
	12 委託料	93		12 委託料	241	
	17 備品購入費	217		13 使用料及び賃借料	143	
	18 負担金補助及び交付金	1,050		17 備品購入費	250	
				18 負担金補助及び交付金	1,100	
			合計	4,501		合計

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
	出場分団に係る訓練及び行事開催事務	出場分団に係る訓練及び行事開催事務	出場分団に係る訓練及び行事開催事務

事務事業名	消防ポンプ操法大会参加事業	事務事業No.	30101000679	所属課	防災課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 昭和23年度から全国消防操法大会が開催され、各都道府県の市町村消防団は地区大会に参加している。合併により平成18年度からは茨城県県西地区大会に出場している。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 消防団員は長期間の訓練を行うが、時間帯や体力の面において仕事との両立に苦労しているところがある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目		
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	消防団員相互の団結力の強化と消防ポンプ操法技術の向上により防災消防体制の強化に繋がるため、市の政策体系に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	消防団員相互の団結力の強化と消防ポンプ操法技術の向上により防災消防体制の強化に繋がるため、市が行うのは妥当である。
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない	消防団員は本業のかたわら時間の許す限り体力の限界まで厳しい訓練を行っており、これ以上の成果の向上余地はない。
有効性	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	団結力と消防ポンプ操法技術の低下により防災消防体制が弱体化する。市民生活の安全安心のためには継続しなければならない。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名) <input type="checkbox"/> 余地がない	消防ポンプ操法競技大会の類似事業はないため、統廃合や連携はできない。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない	訓練実施に支障が出るおそれがあるため、事業費の削減余地はない。また、必要最小限の事務時間である。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	消防団員相互の団結力の強化と消防ポンプ操法技術の向上により防災消防体制の強化に繋がり、すべての市民が受益者となるため特定の受益者はいない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括 (振り返り、反省点) 消防ポンプ操法競技大会は、技術の向上を図るための重要な事業として位置づけられているものである。訓練は大変厳しいもので消防団員の中にはマイナスのイメージを持つ者もいるため、今後、出場分団が団員の負担を考え訓練日数を決定することとなった。																			
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×		×
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	×																	
		×		×																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ④																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認
---	---